

「富士に学べ」



令和8年10月1日

『令和8年度全国学力・学習状況調査結果』

4月22日（水）、23日（木）、30日（木）に、中学3年生を対象に、国語・数学・英語（3技能・話すこと）の全国学力・学習状況調査が行われました。文部科学省や教育委員会、学校が、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ることが目的です。

本校の生徒たちは、国語の漢字や語彙力、数学の基礎的な計算力、英語での高い読解力や英作文力など、確かな知識と自分の考えを文章で伝える力において、全国や静岡県を上回る素晴らしい強みを持っています。自ら進んで学びを深める生徒も多く、日頃の努力の成果がしっかりと根付いています。一方で、数学のデータの活用や数理的な説明、英語での即興的なやり取り、国語の情報の整理など、条件を整理して根拠を示しながら表現する場面に、さらなる伸びしろが見られます。日常の中で温かい声を掛けて小さな挑戦を応援し、自分の考えを自信を持って表現できる力を、学校とご家庭で連携しながら大切に育んでいくことを目指したいと考えています。

☆本校の調査結果と課題☆

Ⅰ 国語

【国語（学習指導要領の内容）の平均正答率（%）】

学習指導要領の内容	富士中	全国（公立）
言葉の特徴や使い方に関する事項	65.7	63.0
情報の扱い方に関する事項	69.0	70.4
話すこと・聞くこと	64.8	63.9
書くこと	68.7	67.4
読むこと	61.4	59.7



本校の国語の平均正答率は65%（正答数9.8問）であり、全国平均の63.9%を上回る優れた成果が見られています。特に、漢字の書き取りや文法などの「言語事項」で正答率65.7%（全国63.0%）と高く、基礎知識がしっかり身に付いています。また、文章の意図を正確に読み取る「読むこと」や、考えを整理して文章にする「書くこと」の領域でも全国を上回り、短答式や記述式の問題で豊かな表現力を発揮しています。日頃から言葉を大切にし、自発的に読解や文章表現に向き合ってきた生徒たちの地道な努力が実を結んでおり、本校の誇れる頼もしい強みとなっています。

一方、「情報の扱い方に関する事項」の正答率は69.0%（全国70.4%）と、わずかに全国平均を下回っています。目的や場面に応じて必要な情報を整理し、要約する力に課題が見られます。また、話し合いの中で相手の意図を捉える対話の場面でも課題があります。そのため、日頃の対話や情報整理の機会を温かく見守りながら促し、自分の考えを根拠とともに伝えることをより大切にしていきたいと考えています。

2 数学

【数学（学習指導要領の領域）の平均正答率（%）】

学習指導要領の領域	富士中	全国（公立）
数と式	69.5	67.8
図形	50.4	48.7
関数	57.6	54.8
データの活用	52.7	53.5



本校の数学の平均正答率は 58%（平均正答数 9.3 問）で、全国平均の 57.0%を上回っています。全問正解を果たした生徒の割合が 8.6%（全国 4.9%）と高く、上位層の伸びが著しい点が大きな特徴の 1 つでもあります。領域別では「数と式」が 69.5%（全国 67.8%）、「関数」が 57.6%（全国 54.8%）と全国を上回っており、計算や基本概念の定着に目覚ましい成果が見られます。さらに、思考力や記述力を問う問題でも正答率 41.1%（全国 39.1%）と健闘しており、粘り強く数学的探究に向き合う頼もしい姿勢が育まれています。

一方、「データの活用」領域の正答率は 52.7%（全国 53.5%）と、わずかに全国平均を下回っています。累積度数の読み取りや、グラフの特徴から根拠を示して説明する問題に課題が見られます。また、問題の解き方を数理的に説明する記述問題で無解答率が 44.3%に達するなど、途中の考え方を文章で伝える難しさもうかがえます。日頃から「なぜそう言えるのか」を言葉にする経験を重ねていくことができるようにしていきたいと考えています。

3 英語

【英語（学習指導要領の内容）の平均正答率（%）】

学習指導要領の内容	富士中 【3 技能】	全国(公立) 【3 技能】	富士中 【話すこと】	全国(公立) 【話すこと】
聞くこと	1.2	1.2	1.3	1.2
読むこと・書くこと	2.9	2.5	2.9	2.6
話すこと	／	／	0.7	0.7

本校の英語（3 技能）の平均 IRT スコアは 538（全国 499）、平均正答数は 4.1 問（全国 3.7 問）であり、全国や静岡県を大幅に上回る非常に優れた成績を収めています。特に「読むこと・書くこと」の正答数が 2.9 問（全国 2.5 問）と高く、理由を添えて自らの考えを書く英文問題では正答率 63.2%（全国 44.0%）と大きく上回っており、高い表現力を示しています。また、「話すこと」でも平均 IRT スコア 527（全国 499）と高く、社会的テーマについて意見を発表する課題でも全国平均を超えています。豊かな言語表現力を糧に自信を持って学びに向き合う生徒たちの姿が見られています。

一方、メールから時刻の条件を細かく読み取る問題で正答率 63.2%（全国 72.4%）と下回るなど、情報の正確な処理に課題が見られます。また、「話すこと」の電話で相手に依頼するやり取りの問題の正答率が 26.8%（全国 32.1%）にとどまるなど、場面に応じた即興的な対話に少し苦手意識もうかがえます。相手の応答に合わせて英語でやり取りを楽しむ経験を日常的に重ね、安心して伝える力と自信を大切に取組んでいきます。

4 生徒質問紙から

生徒質問紙調査からは、本校生徒の整った生活習慣や高い学習意欲といった素晴らしい強みが見られます。毎日朝食を食べる生徒の割合は **80.9%**（全国 78.4%）と高く、平日に「2 時間以上」家庭学習をする割合も **42.2%**（全国 30.1%）と、日々の努力を惜しまない姿勢がしっかりと根付いています。また、授業での ICT 活用も「ほぼ毎日（複数授業）」が **41.2%**（全国 29.3%）と大変先進的です。一方で、平日に 4 時間以上スマートフォン等を利用する生徒が **41.7%**（全国 28.8%）と高く、就寝時刻の規則性が「当てはまる」割合も **27.5%**（全国 34.9%）にとどまるなど、生活習慣の整え方に課題がうかがえます。さらに、自分と違う意見について考えるのが楽しいと感じる生徒は **22.5%**（全国 32.0%）であるため、対話への心理的ハードルを和らげる関わりを今後はより大切にしていきたいと思います。